技能労務職員等の給与等の見直しに向けた取組方針

1 現状

(1) 職員ごとの人数、平均年齢、平均給与等及び民間従業員のデータ(19年4月1日現在)

区分	公務員					民間				参考 A/B
	職員数	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額 (A)	平均給与月額 (国ベース)	対応する民間 の類似職種	平均年齢	平均給与月額 (B)	平均給与月額 (国ベース)	
行田市	19人	52.2歳	353,895円	408.9千円	401.4千円	-	-	-	-	-
うち自動車運転手	5人	50.1歳	345,600円	406.3千円	396.0千円	自家用自動車運転手	54.6歳	296.8千円	-千円	1.37
うち清掃職員	3人	54.8歳	382,034円	432.8千円	432.8千円	廃棄物処理業従業員	43.3歳	299.8千円	-千円	1.44
うち調理員	2人	56.2歳	318,550円	344.7千円	344.7千円	調理士	41.2歳	267.5千円	-千円	1.29
埼玉県	人	歳	円	千円	千円	-	-	-	-	-
国	人	48.8歳	287,094円	320.5千円	320.5千円	-	-	-	-	-
類似団体	人	歳	円	千円	千円	-	-	-	-	-

区分	参考		
	年収ベース(試算値)の比較		
	公務員 (C)	民間 (D)	C/D
行田市	-	-	-
うち自動車運転手	6,542.3千円	4,029.1千円	1.62
うち清掃職員	7,140.6千円	4,192.6千円	1.70
うち調理員	5,730.9千円	3,607.1千円	1.59

※民間データは、賃金構造基本統計調査において公表されているデータを使用している。(平成16年～平成18年の3ヶ年平均)

※技能労務職の職種と民間の職種等の比較にあたり、年齢、業務内容、雇用形態等の点において完全に一致しているものではない。

※年収ベースの「公務員(C)」及び「民間(D)」のデータは、それぞれ平均給与月額を12倍したものに、公務員においては前年度に支給された期末・勤勉手当、民間においては前年に支給された年間賞与の額を加えた試算値である。

※空白としている事項については後日掲載する。

(2) 職種ごとの年齢別の人数、平均給与等のデータ

※職員数が1人の場合の平均給与等のデータについては、個人が特定されるので公表しない。

①自動車運転手

年齢別	職員数	平均給料月額	平均給与月額	平均給与月額 (国ベース)
40～43歳	1人	-円	-千円	-千円
44～47歳	1人	-円	-千円	-千円
48～51歳	2人	351,300円	401.2千円	390.3千円
52～55歳	人	円	千円	千円
56～59歳	1人	-円	-千円	-千円

②清掃職員

年齢別	職員数	平均給料月額	平均給与月額	平均給与月額 (国ベース)
48～51歳	1人	-円	-千円	-千円
52～55歳	人	円	千円	千円
56～59歳	2人	393,500円	436.8千円	435.9千円

③調理員

年齢別	職員数	平均給料月額	平均給与月額	平均給与月額 (国ベース)
52～55歳	1人	-円	-千円	-千円
56～59歳	1人	-円	-千円	-千円

(3) その他給与に関する事項

①給料表

労務職等給料表(国の行政職俸給表(二)を合成)を適用(2級制)

②技能労務職員の特殊勤務手当

手当名称	支給要件	支給単位
斎場業務手当	火葬の処理業務に従事した場合	1体700円

③昇給

毎年4月1日に前年1年間における勤務成績に応じ、4号給(55歳を超える場合は2号給)を標準として昇給。

2 基本的な考え方

第三次行政改革大綱において定める定員管理の適正化推進指針及び集中改革プランに即し、技能労務職員については、原則退職者不補充とし、その業務の民間委託や臨時職員等への切り替えを行うものとします。

また、給与については、民間の同種の職種に従事する者の給与水準との均衡に留意しながら、国、県における同種の職員の給与に準拠した適正な給与となるよう努めます。

3 具体的な取組内容

給料表については、平成19年度より独自給料表から国の行政職俸給表(二)を用いた2級制の合成表へ移行を行っております。給与改定に当たっては、国、県に準じた改定とし、給与水準の適正化に努めます。

なお、特殊勤務手当については、平成17年度に見直しを行い、技能労務職員を対象とした手当は、畜場業務手当のみとなっております。

4 その他

技能労務職員については、退職者不補充としており、新規の採用は行っておりません。

事務事業の見直し、民間活力の導入を推進するとともに、職員の配置転換や臨時職員等の活用を図り、計画的な定員管理を進めてまいります。